



### 戦略的な観光霧島の取組は

前田 幸一 議員

**問** 霧島市の観光について現状はどうか。

**答** 令和5年度は、国内からの宿泊数は78万人となる見込みで、コロナ禍前の令和元年度を上回る見込みである。また、インバウンドについても、令和5年度は4万人を超える見込みである。

**問** 令和6年度の観光戦略は、具体的に何かあるのか。

**答** 令和6年度は、観光客の二次アクセスの充実を図るため、空港から丸尾温泉・霧島神宮・霧島神宮駅を結ぶアクセスバスの実証運行を計画している。

**牧園・横川クリーンステーションの運用改善は**

**問** 約一年が経過するが、利用状況と、今後の方針はどうか。

**答** 令和4年度の未来館へのゴミ搬入量と比較すると、搬入台数は増加し、ゴミの搬入量は減少する見込みである。近隣住民の理解を得ながら今後の運用について検討していく。

※未来館とは  
令和4年まで霧島市も加入していたごみ処理施設。現在は、伊佐湧水環境管理組合が運営している。



### 地域ブランド「ゲンセン霧島」更なる活用を

今吉 直樹 議員

**問** 「ゲンセン霧島」の成果と課題、今後の取組はどうか。

**答** 開始から5年が経過し、令和5年度までに66の産品や取組等が認定されている。これまで、ホテルにおける「ゲンセン霧島コーナー」設置や大手航空会社の機内食での活用、飲食店で認定品を活用したメニューの開発・提供が行われた。ブランド力の更なる向上を目指すために、市民の認知度を更に高めることが課題である。今後とも事業者やブランド認定の審査員と連携を密にして、持続可能なブランド認定制度の構築と認定産品の情報発信や販路拡大等につながる取組に努めていく。

**大規模コンベンションを生かして稼ぐ力の向上を**

**問** 「全国和牛能力共進会」や「かごしま国体」を今後を生かすべきだと考えるがどうか。

**答** 一過性の効果にとどまるのではないよう、今後につながる取組を検討していく。

その他の質問

・周年行事等を生かした取組の推進について  
・地域特性を生かした観光の推進について



### 家屋の耐震対策や豪雨水害対策を急げ

宮内 博 議員

**問** 能登半島地震では、多くの家屋が倒壊した。耐震計画を充実し、耐震化を促進すべきだ。令和4年も水害を受けた隼人町西瓜川原・稲成田地域の対策は10年以上先であり、移動式ポンプを常設配備すべきではないか。

**答** 令和6年4月から運行区域を、隼人神宮2、4丁目、国分城山団地、名波、中央地区などへ拡大する。さらに運行区域拡大など検討する。

**問** 昭和56年以前建築の木造住宅の耐震改修に限度額100万円を補助している。西瓜川原地域については、松永水路から手籠川への工事を具で行っている。稲成田地域についても水害をなくす対策を考えていく。

**答** 昭和56年以前建築の木造住宅の耐震改修に限度額100万円を補助している。西瓜川原地域については、松永水路から手籠川への工事を具で行っている。稲成田地域についても水害をなくす対策を考えていく。



移動式ポンプ稼働状況

その他の質問  
・介護保険問題について

**問** 「きりしまMワゴン」は、隼人地区は南部地域



### 高齢者の移動対策は

池田 綱雄 議員

**問** 高齢者の買物や病院への移動手段はどうか。

**答** 地域公共交通の維持・確保が厳しくなる一方で、高齢者の運転免許の返納は増加傾向にあるなど、地域住民の移動手段の確保は、重要な課題となっている。このようなか、ふれあいバスについては、国分生協病院や霧島市立医師会医療センターへの乗入れを行う等、住民のニーズを踏まえ取組を実施している。また、令和6年4月から、きりしまMワゴン運行区域拡大に伴い、医療機関や商業施設の停留所を増やすなど、地域公共交通の構築に取り組んでいく。

**スマートICの早期完成を**

**問** (仮称)霧島市スマートICの進捗状況は。

**答** 東九州自動車道の国分ICから隼人東ICの間に整備することが計画されており、産業振興、防災機能の強化、救急医療への貢献、市民生活の利便性向上など整備効果を早期に発現できるように、NEXCO西日本九州支社と事業の着手に向けて準備を進めてきた。早期完成に向けて取り組んでいく。



### 山林の管理体制の構築推進と災害対策の強化を

久保 史睦 議員

**問** 山林の樹木伐採の状況は。また、留意事項に災害対策は含まれているのか。その後の保全に対する追跡調査を行っているか。

**答** 状況は左記の通り。防災面は十分注意すること等を掲げ、対策について注意喚起をしている。届出に対し、職員による巡回を行い、伐採中・後に留意事項が遵守されているか現地確認を行い、必要に応じ所有者に指導を行っている。

伐採年度	伐採届出	伐採面積
令和2年度	522件	327ha
令和3年度	556件	314ha
令和4年度	696件	410ha

山林の樹木伐採の状況



**安心して利用できるトイレの環境整備を**

**問** 男性用トイレの個室へのサニタリーボックス設置について、その後の取組はどうか。

**答** 前立腺や膀胱のがん術後や、脊椎の病気で排尿障がいがあり尿とりパットを使用される方が、安心して公共施設を訪れる環境を整えるため、合計で297か所の個室に設置した。今後追加設置を検討する。

その他の質問

・道路行政について  
・耕作放棄地の解消に向けた取組について



### ひとり親家庭医療費助成の手続きの簡素化を

山口 仁美 議員

**問** 申請書に領収証や医療機関の証明書を添えて市窓口へ提出する形となっているが、他自治体のように、医療機関窓口へ提出する方式を導入できないか。

**答** 平日仕事等で忙しい、市窓口での提出が困難な場合、郵送や「コア・よか」での提出を受け付けている。申請請求の簡素化を検討していく。

**答** 横川地区で開催された小学校の未来を語る意見交換会に、職員が参加し、情報提供や意見聴取を行った。今後も地域からの要望に応じて必要な情報は積極的に提供し、地域の合意形成に基づく、それぞれの地域特性に合った学校のあり方について検討する。

**小さな地域に寄り添う学校再編の検討を**

**問** 小規模小学校のあり方指針では、1学級以下及び地域と保護者の合意形成による統廃合の申出を審議会開催の基準としている。知識や情報が不

